

自衛隊記念日観閲式研修

神奈川地本カレッジ防衛モニター 清水 丈太郎

10月23日(日)、カレッジ防衛モニターとして自衛隊記念日観閲式研修に参加した。

本イベントは、自衛隊の創設を記念し、自衛隊記念行事の一環として3年に一度行われる陸上自衛隊の観閲式典である。

当日、朝霞訓練場にある式典会場に着くと、徒步部隊をはじめ、陸上自衛隊が所有する様々な種類の車両や戦車などが一糸乱れず整然と並んでいた。観閲行進が始まると、自衛隊員たちがアナウンスによる部隊紹介とともに行進する姿を見ることができた。隊員が澁刺と行進する姿を観て、カッコいい、凄いいといった身体の中から湧き出るような感情が得られた。自衛隊の最高指揮官である内閣総理大臣の訓示もとても印象深く「かけがえない平和の守り神として、崇高な任務を高い使命感と責任感で全うする彼らは日本国民の誇りです」との言葉に、目まぐるしく変わる国際情勢においても自衛隊なら絶対に対応できると思った。また驚いたことに、観閲式は自衛隊だけで行うものと思っていたが、米陸軍のストライカー旅団や米海兵隊の普天間基地所属のオスプレイが祝賀部隊として観閲式に参加しており、今後日米間においてより密接に連携強化を図っていくのだろうとの思いを抱いた。

藤沢防衛協力会遠藤支部の部隊研修を支援

神奈川地方協力本部藤沢募集案内所(所長 鳥津准陸尉)は、10月18日(火)、陸上自衛隊駒門駐屯地(静岡県御殿場市)において、藤沢防衛協会遠藤支部の部隊研修を支援した。

同支部は、藤沢市遠藤地区を中心とした自衛隊の活動への支援や協力を目的に、募集相談員をはじめ、地域に在住する自営業や会社員等で構成されている。

当日は、駒門駐屯地の概要ブリーフィングを受けた後、国際活動協力隊資料室や、第1高射特科大隊が保有する装備品などの研修を行った。研修間、参加者からは部隊の活動や歴史に関する積極的な質問がなされ、度々垣間見える会員の方々の自衛隊に関する知識には説明する隊員も驚いた様子であった。また、81式短距離地对空誘導弾の研修では、装備品の能力や隊員の真摯な姿に頼もしさを感じている様子であった。

藤沢募集案内所は、「今後も、地域の協力団体等と連携し、地域における防衛基盤の拡充を図っていく」としている。



81式短距離地对空誘導弾研修の様子



駒門駐屯地概要ブリーフィングの様子